

いぐち さよこ
【一宮町長賞】 井口 佐代子

嬉しかったよ

井口 佐代子

ケンちゃん、天国は楽しいですか。

ケンちゃんが出火原因のはっきりしない火事で、家とともに消えてしまって、来年の3月で10年になりますよ。

ケンちゃんを天に送った日は、朝は雨が降っていたのに、火葬場で天に上る煙を見上げたら、青空にまっすぐに上っていきました。

桜の花びらが舞って、とてもきれいでした。

思えば、あなたがわが家に来てくれたのも桜が満開の季節でした。

私は、あなたのおかあさんにとっても感謝しています。

私のような身体障がい者のいる家にお嫁に来てくれて、祖父母と父母と小姑が2人いる家で同居してくれたのですから。

そして、あなたとリョウちゃんという宝物を家族に与えてくれたのですから。

私はあなたたちと過ごすのが楽しくて、それは、それは、しあわせな毎日でしたよ。

あなたは細かい作業が好きで、仏像を見るのが好きでしたね。

まだ5歳なのに「大きくなったら仏師になりたい」と言ったときにはびっくりしました。

ケンちゃん、私はあなたをお釈迦様が私たちに貸してくださったお弟子さんだと思っています。

障がいがあって、自分に自信が持てない私に、「佐代子おばちゃん、おばちゃんはそのままでいいんだよ。ぼくはおばちゃんが好きだよ」と言ってくれましたね。

その日から、私は前を向いて歩くことができるようになりました。

だから、桜の季節に、お釈迦様のもとへ帰って行ったのだと、思っています。

25年間、いてくれてありがとう。

(千葉県/63歳/女性/無職)

亡くなった甥を忘れることはない事、甥を生んでくれた義理の妹に感謝の気持ちを伝えたくて。直接伝えるのは恥ずかしいので書きました。